

YA-412B / 414B

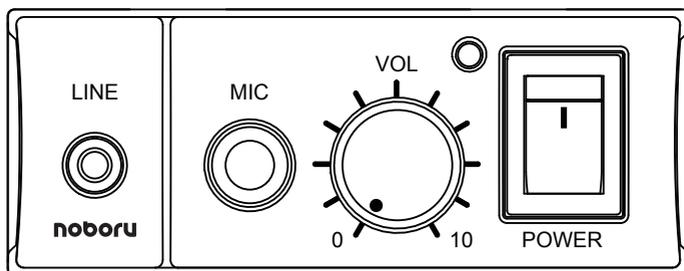
このたびは、ノボル車載用アンプをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、必ず保管してください。（保証書付）



裏面の「安全上のご注意」をお読みになってから本文をお読みください。

■ 特長

- 幅90mm×高さ35mm×奥行84mm超コンパクトサイズで10Wのハイパワーです。
- デジタルアンプ採用により、消費電流*1が当社の従来品*2に比べて約半分です。
(※1 定格10W出力時 YA-412B: 1A、YA-414B: 0.5A ※2 YA-412、YA-414)
- マイク放送、ライン入力の拡声放送ができ、ミキシングも可能です。
- 電源表示灯に青色LEDを採用し、視認性をアップしました。
- 電源スイッチにロッカースイッチ(シーソータイプ)を採用し、操作性をアップしました。
- 付属のブラケットで簡単に取り付けられ、設置場所をとりません。



| | |
|-----------------|---|
| ● 目次 | |
| 安全上のご注意 | 2 |
| 使用電源のチェック | 3 |
| 設置・使用上のご注意 | 3 |
| 各部の名称と説明(前面/側面) | 4 |
| 使用方法 | 5 |
| 取付方法(例) | 6 |
| 故障かな? | 6 |
| 仕様 | 7 |
| 外觀図 | 7 |
| 品質保証書 | 8 |

■安全上のご注意

この安全上のご注意及び製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

| | | | |
|--|--|---|---|
|  警告 | <p>この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p> |  | <p>この記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。</p> |
|  注意 | <p>この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p> |  | <p>この記号は禁止の行為であることを告げるものです。</p> |
| | |  | <p>この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 ●の中や近くに具体的な強制・指示内容が描かれています。</p> |

| | |
|---|---|
|  警告 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 工事には、専門知識と技術・経験が必要です。火災・感電、けが、品物損壊の原因となりますので、販売店、工事に依頼してください。 |  強制 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ● この機器を使用できるのは日本国内のみです。商用（AC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。 |  禁止 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災の原因となります。 |  水ぬれ禁止 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。 |  分解禁止 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切ってください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。 ● 万一、機器の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ● 万一、内部に液体が入った場合は、電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ● 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 |  強制 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり火災の原因となります。 ● この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、カバーに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ この機器をおお向け、横倒しや逆さまにする。 ・ この機器を風通しの悪い、狭いところに押し込む。 ・ 上からカバーをかけて使用する。 ● この機器の通風孔から内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特に小さいお子様にはご注意ください。 |  禁止 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 車の運転に支障のある場所、乗降時に身体や衣服が引っかかる場所やエアバックの作動に支障のある場所等に取付、配線をする、交通事故・けがの原因となります。 |  禁止 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 運転中に複雑な操作はしないでください。交通事故やけがの原因となります。 |  禁止 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● パイプ、タンク、配線などを傷つけないでください。車体に穴をあけるとパイプ、タンク、配線などに傷を付けると交通事故・火災の原因となります。 |  禁止 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 規定以外のヒューズを使用しないでください。火災の原因となります。 ● ヒューズを交換する場合は、規定のヒューズ（YA-412B：3A、YA-414B：2A）以外は使用しないでください。火災・感電の原因となります。 |  強制 |

⚠ 注意

- 他の機器を接続する場合は各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又、接続は指定コードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。  禁 止
- 振動の多い場所、ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして交通事故・けがの原因となることがあります。
- この機器は、ブラケットなどで確実に固定してください。振動などにより落ちたり、倒れたりして交通事故・けがの原因となることがあります。  強 制
- 電源コードの接続はプラス（+）、マイナス（-）を間違えないようにしてください。アンプや車の故障の原因となります。  強 制
- 配線は電源スイッチを切ってから行ってください。電源スイッチを入れたまま配線すると、感電の原因となることがあります。
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。  注 意
- 電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となります。  注 意
- ヒーターの熱風や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に設置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。  禁 止
- 湿気やほこりの多い場所に設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。  禁 止
- 年に一度ぐらいは、機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。  注 意

■使用電源のチェック

お買い上げいただいたアンプを車に取り付けていただく前に、もう一度アンプと車の電源が合っているかを確認してください。各アンプの使用電源は下表のとおりです。

| アンプ | YA-412B | YA-414B |
|-----|----------------|----------------|
| 電 源 | DC12V ⊖ アース車専用 | DC24V ⊖ アース車専用 |

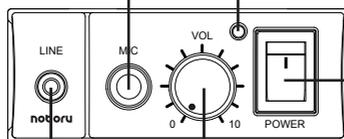
■設置・使用上のご注意

- 次のような場所を避けて通風のよい場所に取り付けてください。
 - ・車の運転に支障のある場所
 - ・乗降時に身体や衣服が引っかかる場所
 - ・エアバックの作動に支障のある場所
 - ・直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上）
 - ・ヒーターの熱風が直接当たる場所
 - ・密閉された風の通らない場所
 - ・温度が著しく高くなる場所
 - ・雨が吹き込んだり、水がかかりやすい場所
 - ・スピーカー等の磁気をおびた場所
- 取付に使用するボルト等は必ず同梱の付属ボルトを使用してください。付属ボルト以外のものを使用した場合、アンプ本体の故障の原因となることがあります。
- ⊖側電源接続コード（黒）はバッテリーの⊖端子、又は車体の金属部に確実にねじ止めしてください。接続が不完全ですと、出力低下、雑音発生等の原因となります。
- 取付作業前にバッテリーの⊖側ケーブルをバッテリーの端子からはずしてください。作業終了までこのケーブルは接続しないでください。
- 本機の近くで無線機や携帯電話機を使用した場合、スピーカーから雑音を拡声する原因となることがあります。本機使用中に無線機や携帯電話機を使用する場合は十分にご注意ください。
- マイクロホンやライン入力のプラグをジャックから抜き取るときは、必ずプラグ本体を持って抜いてください。コードを持って引き抜くと断線やショートの原因になります。

■各部の名称と説明

(前面)

マイク入力ジャック
(-52dBV/600Ω 不平衡)
[音量調節器付]



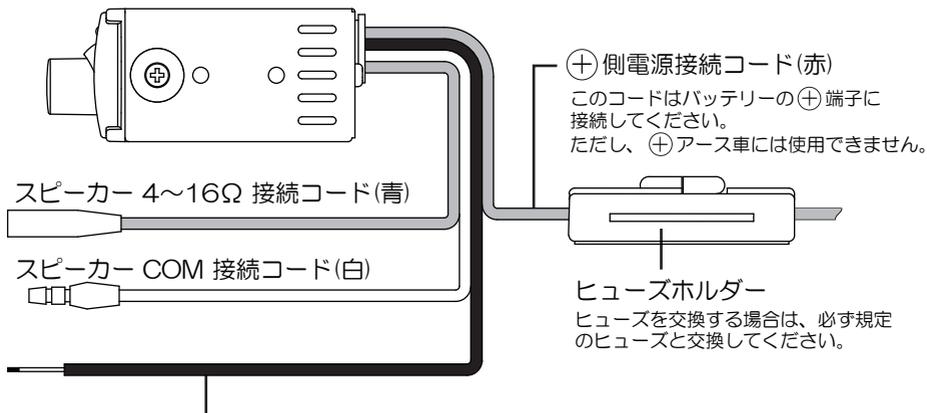
電源表示灯(青)
電源が入りますと点灯します。

ライン入力ミニジャック
(-2dBV/10kΩ 不平衡)
外部機器(ポータブルオーディオプレーヤーやCDプレーヤーなど)のライン出力を接続してください。マイクとのミキシング放送が行えます。音量調節は外部機器の音量調節器で行ってください。

電源スイッチ
電源スイッチを入れますと電源が入ります。

マイク音量調節つまみ
マイク入力ジャックに接続されたマイクの音量を調節します。

(側面)



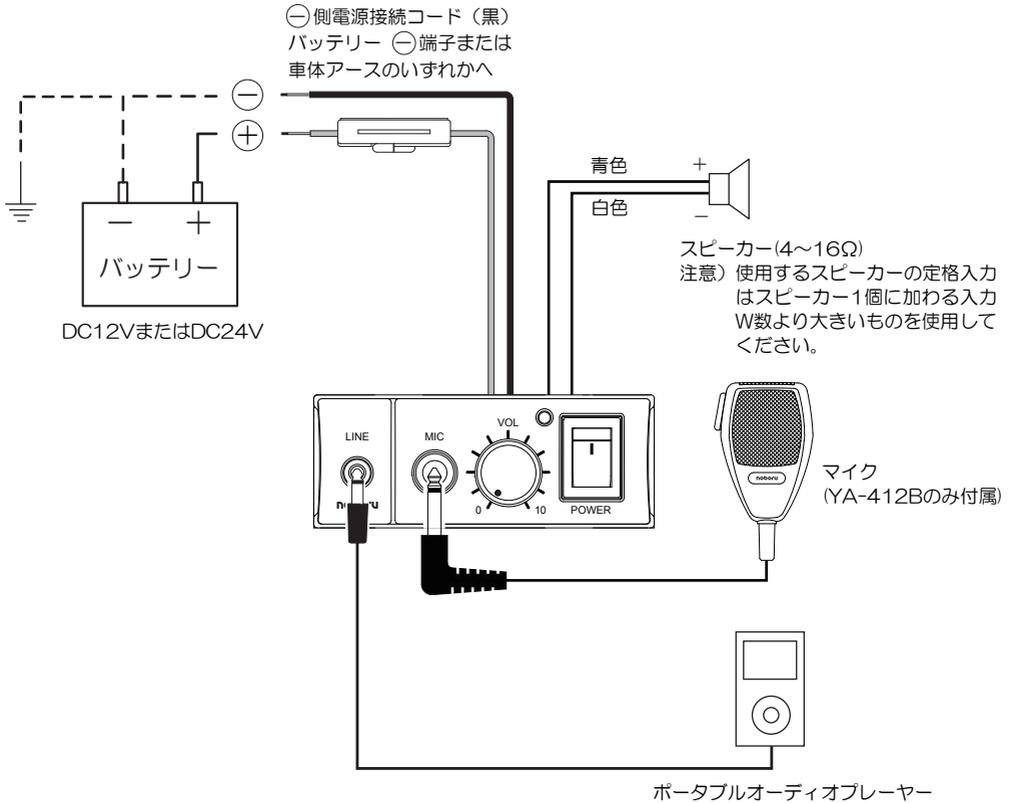
側電源接続コード(黒)
このコードはバッテリー⊖端子に接続するか、最短距離で自動車の車体金属部にアースしてください。なお、車種により金属部の厚みが薄く、プラスチックを多用しているものがよくあります。車体アースする場合は十分ご注意ください。

警告 規定以外のヒューズを使用しないでください。火災・感電の原因となります。

注意 ヒューズを交換するときは、はずしたバッテリー側コードのヒューズ接続端子をショートさせないでください。故障・破損の原因となることがあります。必ず車体などにショートしないような処理を行ってからヒューズを交換してください。

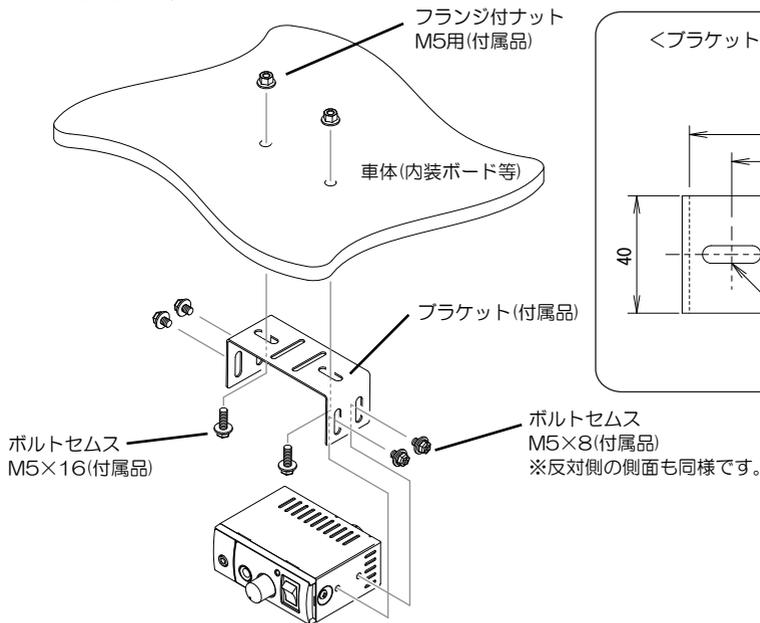
■使用方法

- 電源スイッチを入れますと同時に電源表示灯が青色に点灯し動作状態に入ります。
- マイクホンはマイク入力ジャックに、ポータブルオーディオプレーヤー、CDプレーヤーのライン出力、有線放送等はライン入力ミニジャックに接続してください。
- マイクの音量は本機のマイク音量調整つまみで調節してください。
- ラインの音量はポータブルオーディオプレーヤーなどの外部機器の音量調節器で調節してください。



- 注意) • バッテリーに接続する電源接続コードは、被覆の損傷などで短絡や車体に接触すると非常に危険です。電源接続コードの接続、配線には充分ご注意ください。
- バッテリーと機器の接続時には、バッテリーの近傍に保护装置(ヒューズ等)を入れていただくと、より安全性の向上を図ることができます。
 - 電源接続コードは、赤が⊕、黒が⊖です。逆に接続しますと、ヒューズが断線したり故障の原因となります。
 - マイクの近くにスピーカーがあると、ハウリング(スピーカーからキーンという音が出る)を起こすことがあります。この時はスピーカーの向きを変えるか、音量を下げてハウリングしないようにしてください。

■ 取付方法（例）



警告

- ・車の運転に支障のある場所、乗降時に身体や衣服が引っかかる場所やエアバックの作動に支障のある場所等に取付、配線をする、交通事故・けがの原因となります。
- ・本機の通風孔をふさがないように取り付けてください。



注意

取付に使用するボルト等は必ず同梱の付属ボルトを使用してください。付属ボルト以外のものを使用した場合、アンプ本体の故障の原因となることがあります。

■ 故障かな？

アンプの調子がおかしい時、案外簡単なことが原因となっている場合があります。修理を依頼される前に次の点検項目をチェックしてみてください。

| 症 状 | 点 検 項 目 | 対 策 |
|--------------------|--|--------------------------|
| 全く動作しない | 電源接続コードの接続は正しいですか。 | 接続が正しいか確認してください。 |
| | 電源表示灯が点灯していますか。 | 電源スイッチを入れてください。 |
| | 電源スイッチは入っていますか。 | 電源スイッチを入れてください。 |
| | アース線をプラスチックにねじ止めていませんか。 | 車体の金属部にねじ止めてください。 |
| 有線マイクの音声がでない | マイクのトークスイッチが入っていますか。 | マイクのトークスイッチを入れてください。 |
| | マイクプラグは確実に差し込まれていますか。 | マイクプラグを確実に差し込んでください。 |
| | マイクは正常ですか。 | 他のマイクと交換してください。 |
| スピーカーから音が出ない | マイク音量調節つまみが「0」位置になっていませんか。 | 適当な音量に調節してください。 |
| | スピーカー線は確実に接続されていますか。 | スピーカー線を確認して接続してください。 |
| 音がわる | ご使用の入力の音量調節つまみが「0」位置になっていませんか。 | 適当な音量に調節してください。 |
| | 各音量調節つまみが正しく調節されていますか。 | 各音量を適当な音量に調節してください。 |
| 雑音ができる | 本機やスピーカーコード、マイクコードなどがノイズを発生する機器の近くにありませんか。 | ノイズを発生する機器から遠ざけてください。 |
| | 外部接続機器の電源が入っていますか。 | 外部接続機器の電源を入れてください。 |
| 外部接続機器の音がでないまたは小さい | 外部接続機器の音量調節器が「0」位置になっていませんか。 | 適当な音量に調節してください。 |
| | 外部接続機器が正常に動作していますか。 | 外部接続機器の取扱説明書により対策してください。 |

仕様

| 品番 | YA-412B | YA-414B |
|---------------|---|--|
| 電源電圧 | 12Vバッテリー (標準: DC14V、使用範囲: DC10~16V) | 24Vバッテリー (標準: DC28V、使用範囲: DC20~32V) |
| 消費電流 | 1A | 0.5A |
| 定格出力 | 10W | |
| 出力負荷インピーダンス | 4Ω~16Ω(ローインピーダンス) | |
| 歪率 | 5%以下 | |
| 周波数特性 | 100Hz~10kHz 偏差±3dB (定格出力-10dB時) | |
| 入力感度及びインピーダンス | マイク: -52dBV 600Ω 不平衡 音量調節器付 ライン: -2dBV 10kΩ 不平衡 | φ6.3 標準ジャック φ3.5 ミニジャック |
| 信号対雑音比 | マイク: 60dB以上 | |
| 表示 | 電源表示灯: LED (青) | |
| 使用温度範囲 | -20°C~+60°C | |
| 外形寸法 | 幅90mm 高さ35mm 奥行84mm | |
| 質量 | 約270g | 約280g |
| 付属品 | ブラケット 1個、ボルトセムス(M5×8 アンプ取付用) 4個、ボルトセムス(M5×16 単体取付用) 2個、フランジ付ナット(M5用) 2個 | |
| | ヒューズ(3A) 1個 マイクロホン 1個 マイクロホンブラケット 1個 | ヒューズ(2A) 1個 |

■外観図(単位:mm)

